

所である。維新當時榎本武揚、大島圭介等が據つて最後の決戦をした所で今は公園になつてゐる。

湯川温泉に相對して根崎温泉といふのもある湯川にあるトラピスト修道院は女子部である院内の模様は秘密で知ることが出来ない。

室蘭は人口五万五千餘人を有する都市である

室蘭の日本製鋼所工場にては海軍に使用する鋼材の良質なものが澤山できる。

町の背後にある測量山の麓に八幡神社があるから参拜するとよい。眺めのよいところである。

養蜂場あり見學致候。五稜廓の見學を終り電車にて湯ノ川温泉に至り候。當地は函館市の東北一里三十町の下湯川といふところにこれ有り。「アルカリ」性の温泉にて千人風呂と呼ぶ大浴場等有之候。小生等は此處にて入湯し亦電車に乗りて歸函致候。此の湯ノ川附近には有名な「トラピスト」修道院有之候へ共見學することを得ず僅に繪葉書を求めて其の概略を知る程度に御座候。

■室蘭便り■

膽振國の最南端、鞆繪半島の頸部に位し、内浦灣の東南岸にあつて右に時雨岬、左に七月見岬を控へ、後に丘を

負ひ水深く四季風波の憂が無いといふ室蘭港に入港しました。此の地は嘗て海軍々港豫定地となつた程の良港でありまして、街には日本製鋼所の大工場があります。私等は此の工場を見學しましたが、九州の八幡製鐵所と並稱される大規模の工場で海軍の大砲や艦體の材料となる鋼材は此の工場の産出になるものが多いとの事です。

室蘭の街から海岸に沿ふて一里程の所に東洋捕鯨會社があるといふので行つて見ましたが折悪く鯨が取れて居らず解体作業も見ることが出来ませんでした。而し途中に「アイヌ」部落があり「アイヌ人」を見ることが出来たの

は豫期せざる僥倖でした。

■根室 便り■ (北海道根室郡)

根室へ入港したら當町の金刀比羅神社へ参拜するがよい。當社は海の守護神である境内は眺望の勝地で遠く阿寒嶽の雄姿を展望することが出来る。

小樽市は人口約十五万を有する都市である。

根室へ寄港しました。當港は根室半島の北邊にあり根室千島の重要港であると共にカムチャツカ方面遠洋漁業の根據地で大小の漁船が澤山碇泊してゐます。根室の町は全く海産物の町で海産問屋が多く昆布、鱈、鮭、鱈、蟹の罐詰等が店頭に積まれてあるのを見受ました。

■小樽 便り■

今朝小樽へ入港して正午より半舷上陸をなし市内見物をしていたし手宮公園に尼港事件殉死者の靈を慰め。時間があ

手宮公園の頂上には、運動場及尼港事件殉死者の納骨塔がある。手宮から約一里半行くと高島岬である岬端に高島燈臺と水産試験場がある。小樽へ上陸して時間があつたら北海道の都ともいふべき札幌まで行つて見るのもよい。見るべき價値あるものが多々ある。

つたので小樽公園を散策致候。手宮公園は市の北端海拔二百尺の丘上に在り眺望絶佳、小樽公園は市内中央部丘陵地で中央に大運動場があり園内には我々の初めて見る北國特種の樹木が多く繁茂し、又丘上よりは市街及港内の風光を望み見ることが出来。道は北海漁業の根據地として將又北樺太の富源を控へた北海道有数の海港だけあつて港内は大小船舶の往來頻繁にして活氣を呈し居り候當市より札幌市までは汽車で行けば一時間半で行けるとの事に御座候へ共時間に餘猶なき爲亦の機會に譲り今日は之にて歸艦仕候。

樺太諸港

大泊町は樺太亞庭灣に臨み、樺太の海門をなし北海道との定期船の發着地である。豊原に次ぐ樺太屈指の町で海産物其他物資の集散地であり。無線電信局や王千製紙の分工場がある。

大泊や眞岡等樺太の諸港へは艦隊としては滅多に入港しない。

■大泊便り■ (大泊支廳大泊郡)

水を破つて樺太大泊に入港仕候。内地は既に櫻花爛漫として春酣の候なれ共當地は未だ晩冬の候にして河川港灣には薄氷張りつめ居り候て寒さ尙厳しく御座候。

■眞岡便り■ (眞岡支廳眞岡郡)

本日樺太眞岡港へ入港仕り候。眞岡は樺太の西海岸間宮海峡に面する都邑に御座候て、樺太支廳、區裁判所、樺太應病院及農事試驗場等の所在地にして、附近には有名

なる金澤漁場が之有り候。

琉球及臺灣諸港

■那覇便り■ (中城灣に入港して)

中城灣は琉球の西南岸に位し、南に知念岬突出して廣大なる錨地をなして居るので艦隊訓練の根據地となることが多い。與奈原は灣に面した一名邑で鐵道の起点をなして居る。那覇まで約三十分で遠す乗員は主に與奈原へ上陸する。

我艦隊は一齊に琉球中城灣に入港致候。我々は本日與奈原といゆる町へ上陸し輕便鐵道に三十分乗車し那覇市の見學を致候。那覇市は沖繩島の南部に位し、那覇港に臨み交通の要衝をなす所にて候。市街には夥多のカフェー等もありて内地都市と大差無く存候へ共、一步市外に踏み出せば南國情緒豊なるものに候。我々は、波上神社や

臨海寺、三重城趾、「ガラザ」城等を参拜或は見學致し候。

■基隆便り■ (臺北州基隆郡)

臺灣海峡の怒濤を突いて臺灣の基隆へ入港し本艦は岸壁へ横付けされました。當港へ来て見ると陸上には赤煉瓦の宏壯建築櫛比し海上には大小汽船は申すに及ばずチャンクと申候て内地では見馴れない小舟等右往左來して恰も外國の港へ來たやうです。市内を見物して見ると本島人には纏足をせる婦人を時折り見受けられ服装も内地とは全然異りたるものがあり珍らしく思ひました。

基隆は台湾の最北端に在り台湾第一の良港で市街人口八万餘ある。軍艦が南下するときは大底當港へ寄る。基隆の名所は基隆神社高砂公園、千人塚及招魂碑、クルーバー演、平和公園等である。基隆へ入港するとよく台北見學をする。基隆から汽車で約五十分で着く。

■高雄便り■ (高雄州高雄郡)

×月×日高雄港に入港仕候。當港は舊時打狗と申候處にて臺灣海峡に面し。港口に打狗、旗後の二山が相對して門戸をなし、港内水深く灣入して一大鹹湖を形造り居り候て、南部臺灣第一の良港に御座候。港口附近は所謂高雄八景と申候て風光甚だよろしく候。市街は南と北との二區に分れをり内港を隔て、相對し最も近い所は一町位に候。北を哨船頭街、南を旗後街と申候。停車場は哨船頭街の東北塩埕埔庄といふ所に有之候。鹽埕埔庄の對岸苓雅寮庄といふところは海軍無線電信所の在る鳳山街へ

高雄の港口旗山に打狗燈臺がある。燈火の高さ水面上十六丈四尺光遠距離十裡白色不動光燈臺。打狗山は港口の北角に聳へ、打鼓山又は埋金山、麒麟山といひ海拔一千六十七尺あり。山麓に元興寺といふ寺がある。

高雄から鳳山街まで汽車で二十分にて着く。

澎湖島は内地の島と全然其の趣きを異にしてゐる。

馬公は毎年十月頃より翌年四月頃にかけて吹きまくる風の激しい事は想像以上で小石が飛ぶ位である。駆逐艦などの短艇は間に合はな

の要路に候。我々は汽車にて鳳山街に行き海軍無線電信所や製糖所等を見學致候。

■馬公便り■ (澎湖島)

澎湖島が見え出したとの報に上甲板に上つて見ると本艦前方の水平線上に何んだか、黒いやうなものが見ゆる、だん／＼近づくとつれて懸てそれが材木を浮べたやうに見ゆ、益々近くなると恰も築堤のやうに見ゆる。他の島に見るやうな高い盛り上つた山のやうなものもなく全く島のやうな感じがしない。風は強く浪は高い。本艦は午後四時馬公へ入港した。馬公港内は矢張り浪が荒い。馬

いで防備隊の汽艇を借用して上陸人の送り迎へをすることが度々ある。

媽宮街のある澎湖島は周圍二十九里五町面積四方里ある。

澎湖島には山嶽がなく當地方に一年の過半を吹きまくる北東信風を遮るものがない爲樹木の成育を妨げるばかりでなく海潮を捲き鹹雨

公は我國南端の海の守りなる方八里の澎湖列島に在る要港である。澎湖列島は大小六十三の島嶼より成り其の中心澎湖島(本島)が最も大きくて白沙島、漁翁島と共に馬公港を抱いてゐる。全島唯一の市街は媽宮街といひ人口五千程の町で住民は漁業を營み農産蓄産に従事する者が多い。澎湖列島には山といふものなく概して平坦で海面上二百尺を越へる丘はなく見渡す限り樹木もなく、唯赭灰色の低き丘に風颯々と拂りて曠漠たる荒野を眺めるやうだ。石塊を積み重ねて建てたる異様の家、未開の人類土の丘は内地の風趣に馴染たる我々には轉た寂寥の思

を下す爲樹木の幹枝共に枯死せしむるので樹木といふ程のものが無い。僅に郵便局の前に株の張つた木があるのと他に家の蔭等に琉球桑榕樹が二三ある位である。

城内の西端に軍艦松島の記念碑と記念館がある。

上陸棧橋附近に媽祖宮といふのがある。

ひがする。媽宮街に上陸して海軍下士官兵集會所に行き入浴してみると塩水の風呂だ。全国の集會所で塩水の風呂のあるのは當所のみであると思ふ。聽けば澎湖島には一つの川もなく沼地もなく、井戸は至るところにあれ共出る水は皆四〇「グレーニ」以上の塩分を含んで居り清水は雨水より外に得ることが出来ないとの事である。媽宮街は三方を支那式の城壁で取圍まれ、三ヶ所に順承門拱辰門、朝陽門があり市外との交通が出来るやうになつてゐる。當地の名物は文石と、塩水と禿山と月見位なものだ。本艦は此處に十日間碇泊の豫定だから次の上陸に

亦珍らしい便りをいたすこととする。

朝鮮諸港

■元山便り■ (咸鏡南道)

元山は朝鮮東海岸唯一の貿易港として知られてゐたが、近日滿州國の建國と共に咸鏡北道の清津が急速の發展をなしつつあるから將來の發展性は兩者何れとも豫斷を許さない。

朝鮮東海岸永興灣の元山に入港仕候。當港は朝鮮東海岸日本海に面する良港にして明治十六年よりの開港場として北鮮、南鮮、浦塩、敦賀等へ定期航路があり、貿易港として甚だ殷賑を極め居り候。又一面風光の明媚、空氣の清澄、夏季氣溫の低涼を以て知られ郊外松濤園海濱

元山便りは夏季入港したものと書いてある。

釜山は朝鮮東南端の主要貿易港である。

釜山連絡船は滿鮮鐵道と連絡して歐洲大陸に通ずる。

朝鮮では市や町を府といふ。

は朝鮮第一の海水浴場として設備も完整し目下大變の賑に御座候。

釜山便り (慶尙南道)

×月×日釜山へ入港して即日陸致候。釜山へ上陸して第一に印象づけられることは市街が純無たる内地風であつて朝鮮らしくない朝鮮の町であることに候。夫れ程當地は内地化して居るところに御座候。現在當地の人口は十三萬餘、其の中内地人四萬餘り有之候。當地は釜山府と申し府の背後には大白山脈の餘勢である天馬、娥媚、九德、高遠見の諸峯が屏風の如く圍繞し、朔風を防ぐ爲

龍頭山は市街中央に聳ゆる丘陵で丘上に龍頭山神社がある。境内から一望すると盆地の様な碧灣と絶景、赤崎の翠岱が目睫の間に迫り晴朗の日には南方遙に墨繪の様な對馬の島を望むことが出来る。

「鎮海便り」の文は著者が昭和二、三年頃に寄港した記憶を呼び起して書いたものなれば現状とは多少異つて居

め氣候溫和に候。土地の人に聞けば内地の東京地方と大差無いとの事に御座候。又前面は煙波三十裡を隔て、壹岐、對馬と相對し、朝鮮海峽を越へて百二十裡の彼方下ノ關との間には朝夕二回の所謂釜山連絡船が定期運航し滿鮮鐵道と連絡致居候。我々は龍頭山、大正公園、昭和公園釜山鎮城趾等を見學致し候。

鎮海便り (慶尙南道)

鎮海へ入港仕候。當港は我海軍要港部の所在地に有之候て、陸上の大建築物は殆ど海軍關係のもので防備隊や下士官兵集會所等有之候。小生は上陸先づ第一に集會所に

るかも知れないから此の点諒とされたい。

上陸場から集會所までは可なり遠い。

鎮海で賣つてゐる朝鮮煙草は「敷島」でも「朝日」でも包装は内地製とよく似てゐるが値段も安く味も異ふ。

此處へ入港すると長い朝鮮煙管をオヤヂの土産だなんて買つてくる

至り風呂へ飛込んでざつと躰を流し清々しき気分となりて先づ一服と賣店に至り「ほまれ」を求め候處相悪く品切れ、仕方が無い少し贅澤だが「朝日」を奮發しやうと思ひ十五錢を差出し候處、「朝日」一個におつりがありオヤ／＼へんだと思ひよく／＼見れば包装はよく似たれ共朝鮮煙草にて候故廉價なることを合点いたし候。小生は此の朝鮮煙草の煙を味ひ乍ら鎮海の街を見學致候。此の街は旭日放射線狀に道路があり家屋も之に面して建つるやう計畫されたるものゝ如くに候へ共、豫定の如く發展せざりしものか家屋の無き所もあり街の道路には雜草

鎮海神社は兜山の南腹にある。天照皇大神、豊受大神の二神を祀れる鎮海市民の守護神である。

日本海海戦直前の我艦隊根拠地は實に此の鎮海であつたのである。

の生ひ茂るにまかせたるところもかなり見受けられ候。街を一巡して見れば大榎があり其の周圍には燒芋やら長キセルやら其他種々の物賣る朝鮮の人達が集ひ居り候亦頭上に物を載せたる朝鮮婦人の行交ふ姿やノソリ／＼と牛車を引きつゝ行く農夫、凡てが悠長なる朝鮮風景を描出したし居候。街を一巡して鎮海神社に參拜し市街齊藤灣を一眸のうちに收め、次に日本海海戦記念塔を見學致候。此の記念塔は兜山に在り。高さ百二十尺、徑九十尺、鐵筋「コンクリート」にて當時の日露海戦當時の旗艦三笠の司令塔を型どりたるものとのことに御座候。

夫れより此處を下り再び集會所へ行き食事をいたし歸艦せるは午後四時半にて候。

■馬山便り■ (慶尙南道)

馬山は明治四十四年以來要塞地帯として開港閉鎖後貿易は頗る衰退した。

今日鎮海から馬山へ入港しました。馬山は鎮海灣から更に灣入した一ツの灣の西岸で、天地靈粹の大氣凝つて形成せられたる舞鶴山を北に負ひ、陰陽保和して終始麗明なる馬山灣を南に受けて新舊の市街を作り、空氣の清淨と氣候の溫和と風光の明媚とを以て朝鮮第一の健康地といはれてゐる所であります。人口は約三萬と稱され内、内地人が五千三、四百人居るさうです。當地は氣候と水

馬山は落付きのある大體に於て靜な町である馬山には「金次郎文庫」といふ私設文庫が丘の上にある。

質が良いので醸造業が旺盛であつて。清酒、醬油の如きは品質の優良なる事朝鮮第一との事です。上陸して馬山公園に登つて見ました。馬山公園は馬山驛から數町櫻町の丘上に在りまして、前に馬山市外と港内の全景を望み園内には櫻樹を植へ風光頗るよい所です。又大神宮もお祀りしてあります。其他馬山城趾等を見學しました。

■仁川便り■ (京畿道)

今日仁川に入港しました。當港の名前は日清、日露戦史によく載つて居るのでどんな所かと非常な好奇心を以て入港しました。入港して第一番に驚いたことは潮汐の干

此の附近の海は一般に潮汐の干満が甚だしい仁川に入港したら京城見學を許されることが多い。

満激甚なることです。此の頃二十尺位の潮汐干満の差があります。而し之はまだ少ない方で、激い時には三十尺餘りの差があり、海中には思はぬ島が浮び出る等珍現象を呈するとの事です。此の仁川の町は朝鮮京畿道の西海岸に突出した小半島の突端にあつて、京城まで鐵路二十四哩といはれてゐます。地勢は一般に凹凸傾斜の地が多く就中、中央部に於て東西に横たはる丘陵は、自然に市街を南北の二部に區別してゐます。其の西南面より海岸に至る間には内地人の家屋が櫛比し所謂内地人街を形成し、東北一帯は朝鮮人家屋が建ち並び朝鮮人街となつて

月尾島は市外の西方十餘町の海上にある周圍約一里餘の島で、幅三間の「コンクリート」築堤道路を以て市街と連絡してゐる。此處には書き盡せないが一度行つて見るとよい。此處は理想的公園で京仁唯一の樂天地といはれてゐる。小月尾島は月尾島の南に連絡する小島で、日露戦役の際露艦「ワリヤーク」「コレーツ」

居ります。港灣には月尾島、小月尾島、沙島等が前面に横たはつて内港を圍み、永宗、龍遊、舞衣、紫月、靈興大阜の諸島が遙に外郭を畫いて外港を爲してゐます。外港は規模頗る雄大で天與の一大港灣をなすと共に京城の咽喉をなしてゐます。我々は仁川神社に參拜しました。此の神社は市街中央西海に面する高燥なる地にあります。天照皇大神竝に明治天皇が御祀してあります。境内には樹木多く東公園と稱へ眺望のよい所です。夫れから西公園を散策しました。此の公園は市街中央鷹峰山の丘陵にありまして全港の風光を一眸の中に收むる良い公園で

の二艦が本島の近くで爆沈したので内外に知られてゐる。

鎮南浦は平安南道の西端大同江口席島より溯ること二十哩の北岸にある。席島には燈臺がある。

鎮南浦は明治二十七年五月、日清役の際、我艦隊の根據地となりたるところである。鎮南浦の精米所は其の規模殊に大である。

した。

■鎮南浦便り■ (平安南道)

大同江を溯航して×月×日鎮南浦へ入港仕候。當港は大同江の北岸にあり河川港灣としては本邦唯一との事に候。鎮南浦府は平壤府を去る十四里の所に之有、人口四萬、内、内地人六千人餘りを有し開港都市として殷賑を極め居り候。府内には精米所の大工場があり所謂朝鮮米の輸出港としても知られ居り候。名所には昭和公園及三和公園等の遊樂地有之候。小生は上陸すると精米所を見學し之等の公園を散策し、郊外に出でて林檎園を見學致し候

鎮南浦へ上陸の際は時間があれば平壤見學するとよい汽車で行けば直ぐである。沿道には林檎園多く春の開花期なれば恰も若葉に淡雪の積れる如く。秋の結實の頃なれば眞紅寶玉を聯綴せる如く、車中より眺むる風致亦格別である。平壤は朝鮮第二の都會にて戦蹟に富み見學價值充分ある

鎮南浦市街の東西北の三面は何れに出ても殆んど林檎園にて目下林檎の熟れ初める頃にて何處へ行きても眞紅の寶玉枝もたわゝに實る有様は實に美事なものに御座候。我々が林檎園の見學を申込みば園主は之を歓迎して案内して下され此處彼處にて木に實る林檎を採つて我々に薦められ候。我々は園内を見學して見聞を廣むると共に鮮果を試食して其の美味を賞しつゝ、辭去し歸艦仕候。

關東州諸港

■大連便り■ (遼東半島)

大連は日清戦争の結果一時我有に歸したのであるが、三國干渉の結果果清國に還付したのを露國が租借し「ダルニ」と命名して港内の諸施設を改め、市街の面目を一新するに至つたが、日露戦役の結果一切の権利を我國が譲受け「大連」と改め今日に至つたところである。

大連銀座の夜は夜店や大道商人等で雜鬧を極

南に南山、緑山を負ひ、北は大連灣を擁し、東は灣口を連ねて黃海に臨む大連へ入港し、本艦は埠頭岸壁へ横付けして繋留いたし候。當港は關東州の關門として滿州國內物資の集散地として海陸共に繁榮を極むる自由貿易港にして戸數七萬八千戸、人口約四十三萬人を有する大都市に候。豫々聞及び候大連埠頭は其の規模の宏大なること實に驚くばかりに候。就中繋船岸壁は其の全長五千米あり一時に三千噸乃至二萬噸級船舶四十隻の繋船能力を有すといわれ大陸の關門として水陸設備の完備と規模の宏大は東洋一と誇る大連埠頭の一大偉觀と存候。小生は

む(市電西廣場下車) 連鎖商店街とは常盤橋橋畔から電氣遊園にかけての商店街をいふ。(市電滿電バス前下車) 大連神社は南山麓に在り、大國主命、靖國元神を主神とし外四神を合祀する。 星ヶ浦公園は市内大廣場から西南一里餘(市電星ヶ浦下車) 老虎灘は市電老虎灘で下車する。 露天市場は俗に泥棒市

上陸勿々大連第一の繁華街といへる俗に大連銀座といふ磐城、浪速、奥町に亘る商店街を見物し、次に現代的の商店街と稱す連鎖商店街を見物し電氣遊園地の植物園や動物園を見學致候。尙、大連神社に參拜し、中央公園に至り、日露の役蓋平以南で陣歿した將士の靈六千三十體を奉安する忠靈塔に參拜致候。此の中央公園は緑山を背にした秀麗雄大なる自然の風致に富み、園内からは市街港灣の展望實に宜敷候。大連には星ヶ浦公園、老虎灘、滿蒙資源館、工業博物館、露天市場等見學價值充分なるもの多々あるとの事に御座候へ共、之は亦の機會に譲り

場といわれ風變りな市場である。行つてみると話の種になる(市電小崗子警察署前下車)

旅順は遼東半島の南端にあり、南は港口を隔て、洋々たる渤海に臨み、左右に白砂青松の海岸を擁し、背面に天險の山又山を繞すため氣候溫和である。亦此の天險は遼東半島唯一の要害地となつて居り

今日はこれにて歸艦致候。

■旅順便り■ (遼東半島)

×月×日旅順港へ入港し日露の戦蹟めぐりを致し候。先づ第一に櫻山公園に至り、第三回の港口閉塞隊戦死者を露國側で葬つて居たところに建つ閉塞隊記念碑を拜し。新舊市街の間にある高さ四一五尺の孤立峯、白玉山の戦蹟を訪ひ日露の役に此の地で戦歿した海陸の勇士二萬二百餘の遺骨を納めた納骨堂を拜し、高さ二百十八尺圓壘形の表忠塔に至り塔上に昇れば渤海と關東州の全景は大「パノラマ」の如く吾人の視野に展開致候。其れより

日清、日露の役には戦乱の巷と化し我軍が難戦苦闘幾多の犠牲を拂つたことは衆知の事實である。従つて當時を偲ぶ戦蹟は頗る多く、一度旅順を訪れたもので戦蹟巡りをせないう者は無い。戦蹟巡りは下記文の示す如き順序に巡つたが最も便利である。

東鷄冠山には堡壘が四ツある。即ち南堡壘、

博物館、大案子山、を見學し、彼の有名なる二〇三高地に陸軍將士の靈を弔ひ申候。此の二〇三高地は爾靈山と稱へ山頂に乃木將軍の爾靈山之詩を刻したる碑が有之候次に港口を視察して、戦利記念品陳列館に至り候。當館は元露國下士集會所を其のまゝ、利用致候もので砲彈の跡を存し、二千五百餘点の陳列品は、日露の戦前戦後の砲臺模型防禦物の構造、攻圍戦當時の實況寫真、出征諸將の肖像等、壯烈悲壯なる當時の状況をしのぶ參考資料多候。次に此處を出で東鷄冠山、盤龍山、二龍山、松樹山の戦蹟を巡り、明治三十八年一月五日我攻圍軍司令官

東鷄冠山堡壘、第二堡壘、北堡壘が之である

二龍山堡壘は諸堡壘中最大の永久堡壘である

軍歌にある黄金山の南麓は露治時代は別壯地であつたが我管理に屬してからは諸般の設備を施して黄金臺海水浴場として又別壯地として完備してゐる。

乃木大將と露國關東司令官「ステッセル」中將と會見した水師營に至り、當時使用されたる民家を見學し、當時の有様を偲び申候。更に露國の戰歿將士の墓に詣でて敵將士の靈を慰め、次に市街の見物を致し候。旅順市街は中央と龍河で二分され東を新市街、西を舊市街と申居り候。新市街は露治時代に建設されたる街にて關東廳や、工科大学、其の他諸官衙學校等が多く、日本人住宅地と相成居候。舊市街は純然たる商業區と相成居候。

滿期の際の挨拶

出發驛で見送り人に述べる挨拶

滿期歸郷の際は在役中親しくしていた人達が見送つて呉れる。之等の人達に一人一人挨拶をする場合もあらうし又多人数の場合は一語に「皆様」といつて下記の様な要領で挨拶をすればよからう。
「在佐中」とは佐世保にゐる間、吳の滿期者は「在吳中」といふ。

皆様御別れに臨みまして一寸御挨拶申上ます。扱て本日は御多用中にも拘らず態々御見送下さいまして厚く御禮申上ます。私が過去×年間の海軍生活を大過なく終了し此處に恙なく滿期退團し故郷に錦を飾る事を得るのも在佐中皆様の親身も及ばない御懇情の賜と衷心より感謝

滿期の際の挨拶

私が目出度満期をとることを得たのは皆様の御蔭であると感謝の意を述べる。自分は何處へ歸つて何をしてゐるから此の方面へ御いでの際は御立寄り下さいといへば何んだか親しみがより以上に濃くなるやうに思はる。

若し驛頭で歓迎の辭を誰かが述べて呉れる場合は、それが済んでか

いたします。私は×縣×郡×村へ歸り農業に従事いたして居りますから若し皆様が何何地方へ御いでになりましたら近ふございますから是非御立寄り下さいませますやう御願申上げます。では發車時刻に間もありませんから之で失禮いたします。終りに臨み皆様の御健在を御祈り申上げます。

歸着驛で出迎へ人に述べる挨拶

驛頭で御座いますが一寸御挨拶申上ます。扱て不肖海野島夫儀×年間の海軍生活を大過なく終了して此の度満期

ら下記の様な挨拶を述べる。其の際は初めの「驛頭で御ざいますが一才御挨拶申上ます。扱て」はいらぬ。禮をしたら、不肖海野島夫儀……云々と述べるのである。

歓迎會に於ては司會者が「歓迎の挨拶」をするとか朗讀するものなれば、「歓迎の辭」といたやうなものを讀む

退團して歸郷しましたに就て、御多用中遠路態々御出迎を辱ふし厚く御禮申上ます。尚、在役中は何呉となく厚い御芳情を賜りましたに對し、何時も御無沙汰ばかり打過ぎて居りました。此處に改めて御詫び申上げると共に今後共宜敷御指導下さるやう御願ひいたします。大そう簡單で御座いますが之を以て挨拶といたします。

歓迎會に於ける謝辭

不肖海野島夫儀×年間の海軍現役を終へ除隊となりましたに就て、今宵は斯くも盛大なる歓迎會を御催し下さい

から、夫れが終つてから下記のやうな要領に「謝辞」とか「挨拶」を述べるのである。亦自分以外に満期歸郷兵があつて一諸に歓迎會を催ふされたやうな場合は其の歓迎を受けた代表者が「今宵は私共歸郷兵の爲に……」といふやうに「私共」或は「我れ〜」といふやうに述べねばならぬ

満期の際の挨拶
ました事、厚く〜感謝致します。
願れば、去る昭和×年×月×日皆様の絶大なる期待と
激励の言葉に送られて××海兵團に入團しまして以來×
年間些の不都合も無く無事に軍人の責務を完了し國民
奉公の一端を盡し得たのも在役中皆様が度々御手紙を投
せられ或は慰め、或は勵まして下さいました賜と存じ
ます。私は本席を借り今日の謝辞と共に皆様の御厚情
を鳴謝して御挨拶に替へる次第であります。

(海軍實用書翰文 終り)

昭和十年六月二十五日印刷
昭和十年七月三日發行

海軍實用書翰文
定價 金六拾五錢
送料 金八錢



著作兼 吳市泉場町二二
發行者 片山米造

印刷者 吳市堺川通七丁目一四
本 田 勇 一

印刷所 吳市堺川通七丁目一四
本 田 印刷所
電話 九八八番

吳市泉場町二十二番地

發行所 級進社

振替口座大阪五七八〇番

[内案版出社進級]

本書は初版以来既に四万部を賣盡し、級進社の「雑問参考書」として海軍將士に重要せらる。本書は海軍下士官兵諸士が最も必要とする雑問々題約四百七十項の解釋をなす。本書の記事は最も正確を期し、解釋は成る可く簡單明瞭に記述し其の要点を記憶するに便ならしむ。

海兵 常識 雑問 参考 書

定價 金 四 十 錢
送料

内容は毎年訂正増補するものなれば時事問題等は最も嶄新なり。進級試験前及新兵卒業前には必ず本書を読んで下さい。必ず讀者を裨益するところあり。海兵としての常識涵養の爲に進級試験の準備に本書一冊の購讀を薦む。

最新袖珍ポケット型

海兵メモブック

定價 金 二 十 五 錢
送料 四 錢

ケント紙を使用してあれば何回書いたり消したりしても絶対紙面を汚損することなし。

被服交換表もあれば、分隊名簿、役員名簿もある。我海軍艦船も一目で判り、其他有用便利の記事満載せられ、眞に海軍下士官兵諸士の理想的ブックである。

[内案版出社進級]

△海軍恩給を受ける人の指導書▽

改正恩給法による 海軍受恩給者の指針

定價 金 五 十 錢
送料 四 錢

本書は昭和八年の改正恩給法及昭和九年の改正恩給法施行令等に準據して記述したるものなれば現在海軍恩給を受けてゐる人は勿論、將來海軍恩給を受ける人も一冊を必要とする。

級進社の海軍日記は海軍日記界の鼻祖にして創刊第四年を迎ふ。古き歴史と新らしき内容と正確便利な附録とは級進社海軍日記の特色にして絶対他の追従を許さず。級進社の日記は焼直し物にあらず。編者多年の海軍生活体験に據り有用便利に編し毎年改正増補せるものなり

海軍日記

片山米造 案著

昭和十一年の海軍日記も例年の如く十一月中旬(昭和十年)一齊發賣の豫定に付き諸士の御聲援を乞ふ。級進社の海軍日記は毎年十二月中旬までに全部賣切れとなり新年に持越すことなければ發賣の節は品切れとならざる内に御早くお求め下さるやう御願す。

自分の従軍手記を書く手帳

従軍記録

定価 金三十五銭
送料 四銭

要領を得たる新語の解釋

四六判百七十餘頁
定価 金三十五銭
送料 六銭

新聞雑誌世間に多く用ひらるゝ新らしい言葉二千七百餘語を網羅し、簡單明瞭面して誰にもわかるやう正鵠を得たる解釋を下したのが本書の内容なり。



